

ダム周辺に暮らす鳥たち 耶馬溪ダムの鳥マップ

耶馬溪ダムは、豊かな水と緑に囲まれた自然あふれる場所。ダムの周りにはたくさんの鳥たちが暮らしていて、これまでに約100種類も確認されているよ。
そんな鳥たち、実は季節によって見ることができる種類が違うよ。1年中同じ場所で暮らすもの、他の場所から渡ってきて夏や冬の限られた季節を過ごすものがあるんだ。耶馬溪ダムにはどんな鳥が、何のためにやってくるのだろう？
このマップでは、耶馬溪ダムの環境と、季節ごとにみられる鳥たちを紹介するよ！

トイレ
 駐車場
 バードウォッチングスポット
 森林
 平地
 公園・緑地等
 鳥の主なすみか
 平地
 水辺
 森林

耶馬溪ダムってどんなところ？

■耶馬溪ダムのなりたち
耶馬溪ダムは大分県を流れる山国川の支川、山移川に昭和60年に建設された多目的ダム。
ダムには治水（洪水から町を守る）、利水（生活に必要な水を貯める）、水力発電の役割があり、私たちの暮らしを支えています。ダムには水質を保つための噴水があり、虹が見えることもあるよ。
■豊かな自然
耶馬溪ダムは景色が美しいことで有名。春は桜、夏は新緑、秋は紅葉と季節ごとに豊かな自然の風景が見られ、鳥の他にもたくさんの生きものが暮らしているよ。

型式：重力式コンクリートダム
 高さ：62m
 幅：313m
 水を貯める量：2,330万㎡



夏に見られる鳥たち

普段は南の暖かい国で暮らし、春～夏になると産卵・子育てのために日本にやってきて、秋になり子どもが巣立つと再び暖かい国へ帰っていく。初夏はオスがメスに求愛するさえずり（美しい声で鳴く）がにぎやか。耶馬溪ダムではオオルリなど美しい夏鳥に出会えるよ。
また、サギの仲間は1年中日本にいるけど、湖岸の樹林にコロニー（集団で子育てをする場）を作るよ。

サギたちが集団で子育てをする様子

年中見られる鳥たち

“渡り”（季節によって住む場所を移動すること）を行わずに1年中日本で暮らしている鳥で、耶馬溪ダムでは50種類くらいの鳥たちがみられるよ。
耶馬溪ダムでは森に暮らす鳥が多く、花・木の実・昆虫などを食べ、木の枝などで子育てをするよ。
水辺ではヤマセミなどの清流にすむ鳥が水中に飛び込んで魚をとらえる。耶馬溪ダムの豊かな森や水辺には、鳥たちの暮らしやすい場所がたくさんあるんだね。

冬に見られる鳥たち

普段はシベリアなど北の寒い国で暮らしているけど、冬になると大地が凍ってエサがとれなくなるため、暖かい日本に渡ってきて冬を越す。カモなど大きな群れもみられるよ。
冬は木の葉が落ちて、森林で暮らす鳥たちが見つけやすい季節だよ。

スペシャルな鳥たち

耶馬溪ダムには、日本で数が減っている貴重な鳥*も暮らしているよ。特に夏や冬にやってくる鳥はきれいな色、かわいい姿をしている。見つけられたらラッキー！

*環境省・大分県レッドリストの掲載種

山国川の鳥図鑑

山国川や耶馬溪ダムで見られる80種の鳥を紹介しているよ！
右のQRコードかホームページからアクセス！



山国川河川事務所ホームページ

公式ツイッター

ダムの見学やダムカードの配布も行っているよ!!